

平成26年7月24日

各位

会社名：東京瓦斯株式会社
 代表者名：代表取締役社長 広瀬道明
 （コード：9531 東証・名証第1部）
 問合せ先：総務部総務グループマネージャー 三橋 和夫
 （TEL：(03) - 5400 - 3894）

**米国キャメロン LNG プロジェクトからの液化天然ガス購入に関する
 売買契約の締結について**

当社は、本日、米国キャメロン LNG プロジェクト（以下、「本プロジェクト」）からの液化天然ガス（以下「LNG」）の購入に関して、三井物産株式会社（代表取締役社長：飯島 彰己、以下「三井物産」）と売買契約を締結しましたので、お知らせいたします。

記

1. 売買契約の概要

本プロジェクトは、三井物産が参画するキャメロン LNG LLC 社が、米国ルイジアナ州のキャメロン LNG 受入基地に、天然ガス液化プラントを新設し、米国内で生産されるシェールガスをはじめとする天然ガスを精製・液化し、年間最大 1,200 万トンの LNG を輸出するものです。このうち、三井物産は年間 400 万トンの LNG を引き取り、当社は三井物産から年間約 52 万トンの LNG を米国天然ガス市場（ヘンリーハブ）価格リンクで、またこれまでのものと比べて柔軟に仕向地の変更が可能な契約で購入します。

売主	三井物産株式会社
買主	東京ガス株式会社
売買期間	2020 年から約 20 年間
契約数量	8 隻/年（約 52 万トン/年）
売買価格	米国ガスハブ（ヘンリーハブ）価格リンク
受渡条件	Ex-ship 本船着棧渡し

2. 理由

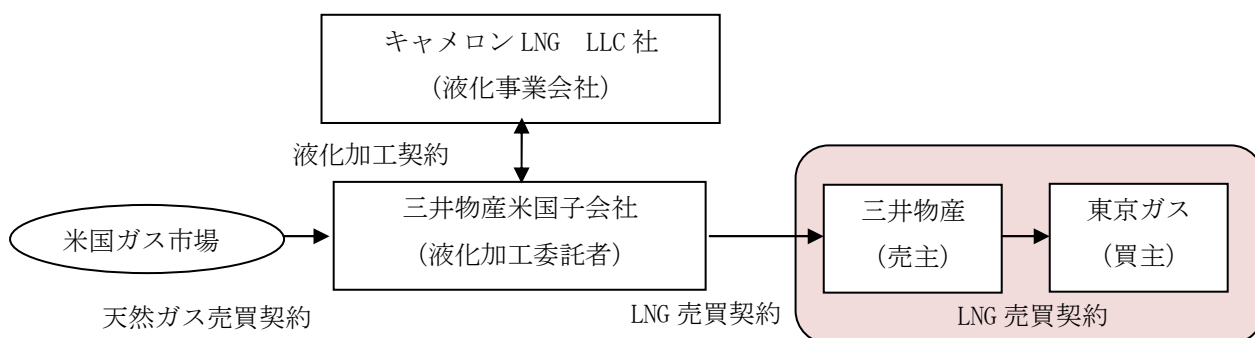
当社は、「チャレンジ 2020 ビジョン」の中で、原料価格の低減に向け、非在来型 LNG を含む原料調達が多様化・拡大、また海外における LNG バリューチェーンの拡大を目指しており、本プロジェクトからの LNG 調達は、その実現に繋がるものとなります。

当社は、2013 年 4 月に米国コーブポイントプロジェクトから年間 140 万トンの LNG を購入することに合意しております。今回、本プロジェクトからの LNG 調達により、複数の米国プロジェクトから LNG を調達することで、ヘンリーハブ価格に準拠した LNG の確実な調達が実現できると考えています。

以上

<参考>

1. 契約スキーム図



2. キャメロン LNG プロジェクトについて

【概要】

事業主体 (液化事業会社)	キャメロン LNG LLC 社 (センプラ・エナジー社 100%子会社、三井物産は 16.6%出資参画予定)
出荷基地	キャメロン LNG 基地(米国ルイジアナ州)
液化能力	1,200 万 t/年 うち、三井物産は、400 万 t/年の引取り
商業生産開始予定	2018 年頃

【概略図】

